国民民主党 こくみん

活動報告第1号
26年/9月～

松戸市の「子育て」と「医療」を守る！

33歳/3児の父・薬剤師・元幹部海上自衛官

おさかべ 智弘（ともひろ）



討議資料

プロフィール

1993年（平成5年）9月28日生。松戸市二ツ木在住（テラスモール松戸の近く）。千葉日本大学第一高等学校、横浜薬科大学薬学部を卒業。大学卒業後、薬剤官として海上自衛隊へ入隊し、海上自衛隊幹部候補生学校へ入校。その後、遠洋練習航海へ参加し、護衛艦で世界10カ国以上を回る。そのほか、配属された厚木航空基地や自衛隊中央病院で調剤や医薬品の調達などを担当。2020年にはダイヤモンド・プリンセス号における災害派遣に従事。船内で約1カ月間、新型コロナウイルス感染症のパンデミック対応に当たる。2021年に記者へ転職。日刊薬業や日経メディカルにて、製薬業・医療業界の賃上げなどを取材してきた。松戸市薬剤師会、消防団（17分団）に所属。特技は剣道で小学生～自衛官時代まで継続。段位は3段。

▼海上自衛官時代



▼松戸駅前でご挨拶



▼ビラも配布しています



▶9月までの活動報告

前職の記者を退職し、8月1日から街頭活動をスタート。まずは自宅の最寄り駅となる新松戸駅からご挨拶させていただきました。その後、馬橋駅や北小金駅など常磐線沿線にて辻立ちしています。もし駅前などで見かけた方がいらっしゃいましたらお声かけいただけますと嬉しいです。

ほかにも松戸駅前で国民民主党のイベントを開催。マイクを握り、政治家を目指した理由や、私が感じる松戸市の課題などを語りました。私が注力していきたい分野は「医療」「子育て」「防災」の３分野になりますが、特に最近、松戸市では大雨や地震など災害に関する問題が多発しています。私の住む二ツ木でも一部の地域が冠水し、床上浸水した住宅もありました。海上自衛官時に、過去に２度災害派遣に参加した経験を生かし、災害対応を考えていきたいと思います。

▼多くの人で賑わっています



▼消防団として警備係を担当



私の住む二ツ木にある蘇羽鷹神社では、8月21日と22日に「納涼盆踊り大会」が開催されました。私の所属する消防団では毎年、お祭りの警備を担当しており、私も警備係の一員として参加しました。実はこちらのお祭りへの参加は初めてだったのですが、出店も賑わいお祭り自体も大盛況でびっくりしました。全国各地で年々、お祭りが減っている中でこの規模の祭りを開催できること自体、大変すばらしいことだと思います。

お祭りでは冒頭に子供たちのフラダンスなどが披露され、その後、広場の中心に設置されたやぐらの周りを音楽に合わせて輪になって踊りました。またやぐらの上では太鼓の演奏披露もあって、とても迫力がありました。私はあくまで警備をしていたので踊り自体には参加していないのですが、見るだけでも十分楽しむことができました。祭りの開催前に雨予報が出ていたため、一時は開催が危ぶまれましたがなんとか開催されて良かったです。来年も警備係としてにはなりますが、ぜひ参加したいと思います。

発行元：おさかべ智弘後援会　連絡先：TEL　０８０－１３６８－３２０６　MAIL　osakabe.tomohiro@gmail.com
住所：〒２７０－００２７　松戸市二ツ木３６１－４

松戸市の未来と安心・安全のための3つの提案

1　子育てにお金使う松戸へ



とある調査の結果によると、子供一人が大人になるまでにかかるお金は2000万円～3000万円と言われています。その一方で、年々上昇する物価などの影響で子育てに大きな不安を感じている方も多いのではないでしょうか。私自身も子供を3人育てているため、その気持ちはよく分かります。私はせめて義務教育の期間にかかる負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整える必要があると思います。子供は国の宝であり、地域の未来です。子を持つ親として、きちんと子供に投資できる松戸を目指したいです。

2　安心して医療を受けられる松戸へ



「必要な医薬品が、必要な時に手に入らない、そんな不安を減らしたい」近年、医薬品の出荷調整や供給不足が続き、薬局や医療現場では薬の確保に苦慮するケースがあります。この問題の解決策の1つに、医師・薬剤師など医療関係者が協働して推奨薬を検討する「地域フォーミュラリ」の導入があります。有効性・安全性を最優先に、経済性も踏まえ医薬品を適正に選択することで、医療費の削減が期待できます。また使用する医薬品を一定程度集約することで、薬局等の在庫を最適化し、出荷調整や供給不足が生じた際にも対応しやすい、安定した医薬品供給体制の構築も可能です。薬剤師としての知識や立場を活用します。

3　防災に強い松戸へ



「これまで大丈夫だった場所でも、次の大雨では浸水するかもしれない」先日の大雨では、松戸市でも住宅の浸水などの被害が発生。私の住む二ツ木でも浸水被害がありました。近年、激しい豪雨は全国各地で増えており、「想定外」で済ませることはできません。雨水排水施設や側溝の点検・整備を進めるとともに、地域ごとの浸水リスクを分かりやすく発信します。災害が起きてから対応するのではなく、起きる前から備えることが重要。市民の命と大切な暮らしを守る、水害に強い体制作りが必要です。元海上自衛官として、災害派遣に参加した経験を生かしていきます。

毎日全力で情報発信実施中！

ホームページ　X　Instagram

「子育てで選ばれ、安心して歳を重ねられる松戸」を目指し、政治活動中！

おさかべ智弘の決まり事

1. 政治思想だけではなく、事実やデータに基づいた考えを持つ
2. 現場を知らない活動はしない
3. 「松戸の未来」を基準にする
4. 市民に説明できる活動をする